



| |
|---------|
| 2014年 |
| 10月6日 |
| No. 142 |

2014 年度 東京蜘蛛談話会例会

1. 日時 2014年11月30日(日) 10時より(開場9時30分)
2. 場所 東京環境工科専門学校 〒120-0022 東京都墨田区江東橋 3-3-7
JR 総武線 東京メトロ半蔵門線 錦糸町駅南口から徒歩3分
3. 連絡 当日は、東京環境工科専門学校の電話が使用できないので、緊急時には以下に連絡ください。
加藤輝代子 090-7012-6458 初芝伸吾 090-6156-8378
4. その他 プロジェクター, OHP 等用意いたします。
5. 講演をご希望の方は、演題と使用希望機材
(スライド, OHP, コンピュータ)
を事務局初芝までお知らせください。

〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8 コンフィデンス高垣 105
有限会社エコシス 初芝伸吾

mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.jp

Tel : 042-501-2651 Fax:042-501-2652

- 錦糸町駅南口から徒歩3分です。



東京蜘蛛談話会 2014 年度採集観察会

1. 期 日： 第3回 2014年10月19日(日) 第4回 2015年2月15日(日)
2. 場 所： 神奈川県藤沢市 新林(しんばやし)公園
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/koen/data06777.shtml>
午前中は公園内平地, 午後は林内自然散策路
3. 集 合： 集合 10:00 藤沢駅南口バス乗り場①
藤沢駅南口乗場①「桔梗山行き」行き 10:15 発に乗車. ひとつめのバス停「富士見ヶ丘」下車(170円). そこから徒歩5分. 乗り遅れると他の乗場から鎌倉・手広方面行のバスに乗ることになります. 富士見ヶ丘経由のバスはたくさんありますがバス停から新林公園までは路地を歩いて行く必要があります. 案内板もありません.
4. 世話人： 池田博明
携帯電話：090-9670-1525

東京蜘蛛談話会の会費は, 一般 3800 円, 学生 2000 円です.
郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします.

会費のことは: 会計担当 須黒達巳
〒240-0026 横浜市保土ヶ谷区権太坂 1-39-6
TEL: 045-641-0763 E-mail: t.s.schlegelii@gmail.com

入退会は: 事務局 初芝伸吾 〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8
コンフィデンス高垣 105 有限会社エコシス
E-mail: hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

通信原稿投稿先: 谷川明男 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416
E-mail: dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp
通信の原稿締め切りは, 4月総会まで, 8月末, 12月末です.

KISHIDAIA 原稿投稿先: 池田博明 〒258-0018 足柄上郡大井町金手 1099
E-mail: fwg9084@mb.infoweb.ne.jp
キンダイアの原稿締め切りは, 6月末日と12月末日です.

※ 会員の皆さんからのご投稿をお待ちしております.



追悼 八幡明彦さん 迷彩服の仙人（出会いからクモ合戦）

新海 明

「八幡明彦」という名前を初めて見たのは 1991 年 5 月発行の東京蜘蛛談話会通信 No.72 であった。この時、私はこの文を斜め読みしただけだった。「クモおたくの一人だろうな」というのが最初の印象だった。

ご本人と初めて会ったのは、1992 年 9 月に目黒区駒場住区センターで開催された「クモグッズ大会」の折だった。巨大なタイ国産のクモのぬいぐるみを肩に担いで会場に現れたのだ。やはり「クモおたく」そのものだった。この手の人は、生き物としてのクモにはあまり関心がないに違いない。「あまり近づかないようにしよう」と思ったものだ。

3 回目は、1998 年に滋賀県の立命館大学で開催されたクモ学会大会だった。懇親会の司会を任せられていた私は、八幡さんを指名して話をしてもらった。多分、毛色の変わった方も加えた方が盛り上がると考えたのだろう。

そして、それ以後の彼との長い・・・いや、結局は短かった付き合いとなる最大のきっかけは、福井県敦賀市で行われた談話会合宿（1999 年）での出来事だろう。私が担当する合宿では 2 日目の午後の観察会は短めに切り上げることにしている。空いた時間は各自でんで過ごしてもらおうのだ。年配の方は疲れるだろうからお昼寝タイムに、若くやる気満々の方たちはオプションツアーに出かけてもらうのである。

この時に八幡さんはなんと宿舎で休んでいたのだ!!! 私は彼からタランチュラの飼育と「みるかし姫」話を嫌というほど聞かされた。挙句に彼が主催する雑誌「土蜘蛛通信」をいただき、さらに会員登録までしてもらった。そして、さすがにお話だけでは間が持たなかったのか付近の山に採集に誘った。そして、見つけたのだ。ムツトゲイセキグモを。八幡さんは盛んにデジカメに収めていた。

2000 年以降は、東京クモゼミの常連の参加者にもなった。ゼミに来始めたころは「ネタ」がないと参加できない・・・と思っていたふしがある。「生真面目なんだなあ」と、採集会や合宿に参加した際の、あのゲリラ服の出で立ちとのギャップが可笑しかった。

採集会や合宿での彼の活躍ぶりは目にみはるものがあった。とにかく、人が歩く道やその付近にはいなかった。沢筋や崖などが八幡さんの戦場だった。そして、泥だらけになって集合時間の最後に現れるのが常だった。谷川さんが戦利品を見ながら同定するのだが、「これはきっと名のあるお方なのでお預かりします」と言わしめるサンプルがずいぶんあった。クモハンターとしても一流だったのだ。

談話会に参加し始めのころには「クモおたく」「タランチュラ愛好家」の「みるかし姫」が、その後、談話会きってのクモハンターの貞元さんと肩を並べるまでの「採集家」となり、やがて「コガネグモの飼育家」となったのは 2002 年加治木町で開かれたクモ学

会大会がきっかけのようだ。この大会を企画した吉田真さんの呼びかけに応じて「クモ合戦」に参加し、加治木町の方々と知り合い、焼酎が更なる仲を深める付け火となったに相違ない。

コガネグモの飼育を東京でもはじめ、その生態をも極めずにはいられなかった。次女の沙和ちゃんを連れて、九州のクモ合戦へたびたび参加したようだ。そして、2007年のクモ合戦で愛娘沙和ちゃんは子供の部で優勝してしまったほどだ。何事もとことん突き詰めてその道を極めないと済まない人だったと思う。

クモ合戦でコガネグモの飼育を通じて、その分布や生息環境に興味を覚えたのだろう。鹿児島県や千葉県房総半島でコガネグモに関する調査を熱心に始めた。この研究の成果は、2005年に兵庫県豊岡市で行われたクモ学会大会のシンポジウムとして取り上げられ、クモ学会誌アクタにもその総説が掲載されたほどであった。

有り余る才能に恵まれながら、世俗的な成功は一切望まない・・・というよりも興味がなかった人なのだろう。語学も数学もディベートも人並み外れて長けていたが、それを社会生活では活かそうとはしなかった。そういう人だった。

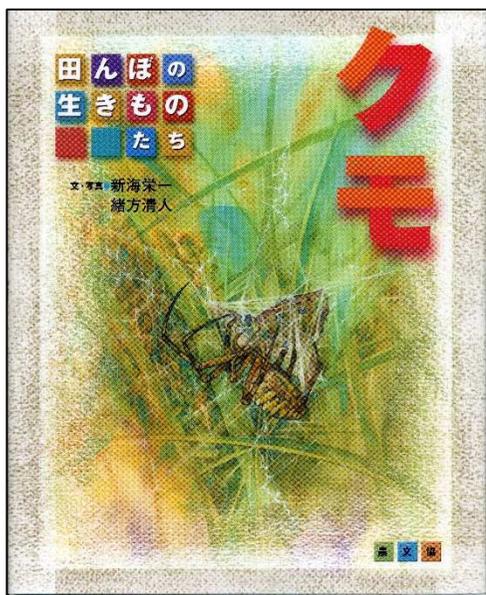
とことん突き詰めるという八幡さんの才能は、クモ研究だけでなく多岐に渡っていた。かつて、毎冬に京都で行っていた湯豆腐の会に彼が参加した折に、終了後に奈良へ向かうというのだ。あるお寺に収蔵された涅槃図にクモが描かれているという。その当時、彼はかなりの寺社を巡り、そこに描かれた動物（特に虫たち）に関心を寄せて調査していたようだ。その成果の一端は談話会通信 113号の例会講演要旨に報告されているが、残念ながら、まとめたものはないようだ。さらに、ビオトープを自宅のベランダやお子さんが通う小学校の庭に作ったりもしていた。確か、「ビオトープ研究所」を名乗っていた時期もあったと記憶している。

また、一時お酒についても興味を持ち自宅でビールやどぶろくを醸造していた。それをクモゼミでふるまってくれて試飲したことがあった。冗談半分に「法に触れるのではありませんか」というと、ビールについては「作成キット」があって、これを使っているのだと言い、どぶろくは自家消費なら問題はないんだと真面目に答えていた。「法に触れるストレス」に精通し、それを楽しんでいたふしがあった。

きっと天国でも「カンダタ」を相手にお酒を酌み交わしながら、クモ談義に花を咲かせているのだろう。でも、おそらくはじっとしておられずに天国と下界そして地獄をも含めたクモの分布の違いをGISのデータをもとに分析し始めているに相違ない。



新刊紹介



新海栄一・緒方清人
田んぼの生きものたち クモ
農山漁村文化協会
ISBN 978-4-540-08235-1
2500 円 (税別)

←



近藤繁生・谷幸三・高崎保郎・益田芳樹
ため池と水田の生き物図鑑
トンボ出版
ISBN 978-4-88716-185-6
2000 円 (税別)

→



←

新海・谷川・安藤・池田・桑田
CD 日本のクモ Ver. 2014
2140 円 (送料込)
購入は谷川までご連絡ください

キシダイア次号で、八幡明彦さんの追悼特集を組みます。現在追悼文を募集中です。12月未までに谷川までお送りください。

相模原市立緑が丘中学校
3年渡辺有咲



きらわれものがたり

ぼくはクモ。



きみもいちどは
みたことがあるだろう？

みんなはぼくのことをみて
こわがたり...



ぼくのあうちをこわしてしまったり...



こんなきらわれもののぼくだって!!

みんなのちをすう 7 や

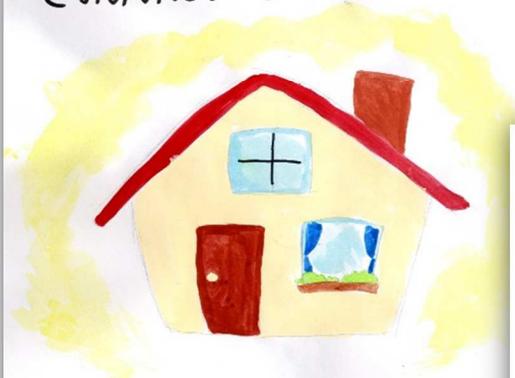


ハエ, ダニ, ゴキブリ なびの



わるい虫たちをゼーんぶん
たべてしまうのだ。

きみのおえないところで"



おうちをまもっているんだよ。

きらわれもののぼくでも



いつか みんなのヒーローに
なれるかなあ...?



糸

加藤康子

夜の間に
 蜘蛛の足の下に
 織られて
 露を とどめた糸は
 朝の
 美しいものたちの中に
 あります
 それは
 たとえるならば
 消えゆく月の光の
 写し絵のようで
 緑の葉のまわりを
 音もなく過ぎる風のように
 誰かに 別れを告げる
 手紙のようで
 気づいて
 見出した者だけに
 銀白に引かれた 線上の
 無数のしずくを
 光とともに
 受けとる者だけに
 微かなしるしを
 残すのです